

2020年4月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月15日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <https://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
 定時株主総会開催予定日 2020年7月28日 配当支払開始予定日 2020年7月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年7月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年4月期の連結業績（2019年5月1日～2020年4月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	483,360	△4.1	19,940	△12.6	19,432	△16.3	7,793	△46.1
2019年4月期	504,153	1.9	22,819	3.5	23,211	8.3	14,462	15.2

（注）包括利益 2020年4月期 5,894百万円（△59.1%） 2019年4月期 14,422百万円（9.4%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年4月期	61.53	61.38	5.2	6.5	4.1
2019年4月期	116.02	115.74	9.9	7.7	4.5

（参考）持分法投資損益 2020年4月期 91百万円 2019年4月期 153百万円

（注）上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	290,651	149,695	51.0	1,221.92
2019年4月期	303,981	150,923	49.2	1,229.28

（参考）自己資本 2020年4月期 148,315百万円 2019年4月期 149,661百万円

（注）上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	24,719	△9,217	△12,905	63,710
2019年4月期	26,128	△10,635	△15,005	61,950

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00	3,542	34.5	3.3
2020年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00	3,527	65.0	3.3
2021年4月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00		38.3	

（注）上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	481,000	△0.5	20,000	0.3	19,800	1.9	13,000	66.8	104.46

（注）上記の連結業績予想に係る1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年4月期	89,212,380株	2019年4月期	89,212,380株
2020年4月期	1,023,467株	2019年4月期	656,736株
2020年4月期	88,231,914株	2019年4月期	88,567,561株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年4月期の個別業績（2019年5月1日～2020年4月30日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	377,787	△4.2	16,626	4.9	18,142	△2.5	13,148	△1.0
2019年4月期	394,495	2.9	15,851	3.0	18,600	8.5	13,282	10.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期	105.69	105.44
2019年4月期	106.33	106.08

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2020年4月期	266,436		147,918	55.5			1,217.27	
2019年4月期	270,427		142,830	52.8			1,172.01	

(参考) 自己資本 2020年4月期 147,751百万円 2019年4月期 142,696百万円

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

2. 2021年4月期の個別業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	376,200	△0.4	16,700	0.4	18,600	2.5	13,200	0.4	106.11

(注) 上記の個別業績予想に係る1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る連結業績の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	1株当たり純資産
	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	71.53	71.38	1,226.92
2019年4月期	126.00	125.72	1,234.28

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金					配当金 総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,657	39.7	4.1
2020年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,652	69.9	4.1
2021年4月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		43.7	

(3) 第1種優先株式に係る業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益 (連結)	1株当たり当期純利益 (個別)
	円 銭	円 銭
通期	114.46	116.11

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 2020年4月期 34,246,962株 2019年4月期 34,246,962株
- ② 期末自己株式数
 2020年4月期 1,192,090株 2019年4月期 1,189,831株
- ③ 期中平均株式数
 2020年4月期 33,056,063株 2019年4月期 33,226,503株

(5) 第1種優先株式に係る個別業績の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	1株当たり純資産
	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	115.69	115.44	1,222.27
2019年4月期	116.31	116.06	1,177.01

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表等	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	14
(連結損益計算書関係)	15
(セグメント情報等)	17
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復が続いておりましたが、2020年1月以降は世界的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化しており、極めて厳しい状況となりました。個人消費におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に減少しており、先行き不透明な状態が続くと想定されます。

飲料業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、消費者の根強い節約志向の継続や自然災害の影響もあり、事業環境は依然として極めて厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。なお、特別損失として、Distant Lands Trading Co. ののれんの減損損失等として52億75百万円、「令和元年台風第19号」などによる災害関連費用として68百万円を計上しております。

売上高	4,833億60百万円（前期比4.1%減）
営業利益	199億40百万円（前期比12.6%減）
経常利益	194億32百万円（前期比16.3%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	77億93百万円（前期比46.1%減）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

「伊藤園大茶会」「おいしいお茶のいれ方セミナー」などを通じて、季節に応じたおいしいお茶のいれ方、お茶の楽しみ方を提案してまいりました。急須で入れるリーフ製品だけでなく、ティーバッグや水でもお湯でもすぐに溶ける粉末タイプなど、手軽にご賞味いただける簡便性製品についても積極的にご提案し、日本茶の魅力をお伝えしてまいりました。

「お〜いお茶」ブランドでは、2019年8月に、これまでの味わいはそのままに、ガレート型カテキンの働きで「体脂肪を減らす」機能性表示食品となった「お〜いお茶 濃い茶」が、下半期の販売実績で前年の1.6倍と好調に推移しております。

また、2019年5月に「最大のナチュラルヘルシーRTD緑茶飲料（最新年間売り上げ）」販売実績世界一としてギネス世界記録™に認定された「お〜いお茶」ブランドは、本年も同記録名において販売実績2年連続世界一として改めて認定されました。これからも「もっと身近な“日本”のお茶」として愛されるよう、地域に密着した取組みを大切に、お茶のリーディングカンパニーとしてさまざまな形でお茶の魅力を発信するなど、「世界のティーカンパニー」を目指してまいります。

その他飲料としては、ノンカフェイン茶系飲料No.1ブランドである「健康ミネラルむぎ茶」は、夏の暑さ対策はもちろんのこと、1年を通してミネラルと水分補給できる飲料として、コーヒー飲料である「TULLY'S COFFEE」は、スペシャルティコーヒーショップ「タリーズコーヒー」で味わうようなおいしさで好評をいただいております。

海外におきましては、和食や抹茶の世界的ブームや健康志向の高まりを背景に、米国、中国を中心に「グローバルブランド」で展開するリーフ製品「MATCHA GREEN TEA」やドリンク製品「お〜いお茶」などの積極的な販売を行ってまいりました。

この結果、売上高は4,440億71百万円（前期比4.1%減）、営業利益は187億83百万円（前期比5.2%減）となりました。

※ 認定数値：\$1,882,900,000（推定） 第三者のグローバル調査データに基づく

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、2020年2月に「アーモンドブラリネソイラテ」を発売、豆乳で作ったホイップクリームをトッピングした“オールソイ”のドリンクとしてご好評をいただきました。また、同年3月にはパートナー農園であるパウ農園と協働で育てた「タリーズブラジル フェゼンダパウ」3種も好調に推移しました。新規出店も順調に進み、総店舗数は747店舗になりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に対しては、お客様と従業員（フェロー）の安全を最優先に考え、緊急事態宣言の発出を受けて9割以上の店舗で臨時休業及び時短営業の対応を行うなど、感染予防対策の徹底・強化を講

じてまいりました。しかしながら、緊急事態宣言の発出に伴う営業及び不要不急の外出の自粛が、当第4四半期会計期間の業績に大きな影響を与えました。

この結果、売上高は327億98百万円（前期比5.1%減）、営業利益は17億25百万円（前期比50.8%減）となりました。

<その他>

売上高は64億90百万円（前期比3.9%減）、営業利益は6億56百万円（前期比14.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態は以下のとおりであります。

(資産)

当連結会計年度末の総資産は2,906億51百万円となり、前連結会計年度末と比べ133億30百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が10億74百万円増加、「原材料及び貯蔵品」が15億3百万円増加、「工具、器具及び備品」が20億39百万円増加、「受取手形及び売掛金」が74億12百万円減少、「リース資産」が38億62百万円減少、「のれん」が68億54百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は1,409億56百万円となり、前連結会計年度末と比べ121億2百万円減少いたしました。これは主に「支払手形及び買掛金」が37億34百万円減少、「リース債務」が25億66百万円減少、「未払法人税等」が14億39百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は1,496億95百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億27百万円減少いたしました。これは主に「親会社株主に帰属する当期純利益」により「利益剰余金」が77億93百万円増加、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が51億87百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.0%（前連結会計年度末は49.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ17億60百万円増加し、当連結会計年度末には637億10百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、247億19百万円の収入（前期は261億28百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が143億68百万円、減価償却費が131億3百万円、法人税等の支払額80億60百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、92億17百万円の支出（前期は106億35百万円の支出）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出103億48百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、129億5百万円の支出（前期は150億5百万円の支出）となりました。これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出46億79百万円、配当金の支払51億80百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

2021年4月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が特に第1四半期に及ぼすものと想定しておりますが、現時点でその収束時期は不透明であり、当社グループの経営成績に与える影響額を合理的に算出することが困難であるため、通期の予想のみとしております。

今後の新型コロナウイルス感染症の業績に与える影響等を踏まえ、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

現時点における翌連結会計年度（2021年4月期）の連結業績の見通しにつきましては以下のとおりであります。

売上高	4,810億円	（前期比0.5%減）
営業利益	200億円	（前期比0.3%増）
経常利益	198億円	（前期比1.9%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	130億円	（前期比66.8%増）

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表等

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,738	64,813
受取手形及び売掛金	56,581	49,168
商品及び製品	35,079	35,710
原材料及び貯蔵品	8,509	10,013
未収入金	10,301	10,744
その他	3,313	3,614
貸倒引当金	△74	△99
流動資産合計	177,449	173,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,877	49,186
減価償却累計額	△25,587	△26,983
建物及び構築物 (純額)	22,289	22,203
機械装置及び運搬具	22,954	24,935
減価償却累計額	△17,379	△18,426
機械装置及び運搬具 (純額)	5,574	6,508
工具、器具及び備品	24,418	30,112
減価償却累計額	△10,207	△13,861
工具、器具及び備品 (純額)	14,211	16,250
土地	22,335	22,046
リース資産	55,576	47,089
減価償却累計額	△36,186	△31,562
リース資産 (純額)	19,389	15,527
建設仮勘定	384	449
有形固定資産合計	84,186	82,986
無形固定資産		
のれん	14,729	7,875
ソフトウェア	1,416	984
その他	2,810	2,711
無形固定資産合計	18,956	11,570
投資その他の資産		
投資有価証券	5,035	3,546
繰延税金資産	5,847	6,082
その他	12,754	12,684
貸倒引当金	△248	△184
投資その他の資産合計	23,389	22,128
固定資産合計	126,532	116,685
資産合計	303,981	290,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,181	26,447
短期借入金	2,020	6,820
リース債務	5,051	3,979
未払費用	24,839	23,631
未払法人税等	4,660	3,220
賞与引当金	4,370	3,783
その他	5,350	3,190
流動負債合計	76,473	71,072
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	44,522	38,922
リース債務	7,450	5,956
退職給付に係る負債	10,313	10,612
再評価に係る繰延税金負債	719	719
その他	3,579	3,674
固定負債合計	76,585	69,884
負債合計	153,058	140,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,640	18,646
利益剰余金	119,242	121,848
自己株式	△4,547	△6,499
株主資本合計	153,248	153,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,279	1,232
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	671	△449
退職給付に係る調整累計額	△484	△322
その他の包括利益累計額合計	△3,586	△5,592
新株予約権	133	167
非支配株主持分	1,127	1,213
純資産合計	150,923	149,695
負債純資産合計	303,981	290,651

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
売上高	504,153	483,360
売上原価	※1 263,778	※1 250,605
売上総利益	240,375	232,755
販売費及び一般管理費	※2 217,555	※2 212,814
営業利益	22,819	19,940
営業外収益		
受取利息	82	95
受取配当金	68	78
受取賃貸料	88	78
破損製品等賠償金	49	44
持分法による投資利益	153	91
プリペイドカード失効益	126	136
為替差益	295	—
その他	282	324
営業外収益合計	1,147	850
営業外費用		
支払利息	462	352
為替差損	—	646
リース解約損	121	153
その他	171	205
営業外費用合計	755	1,358
経常利益	23,211	19,432
特別利益		
固定資産売却益	※3 9	※3 121
固定資産受贈益	5	32
投資有価証券売却益	551	437
受取補償金	114	48
その他	45	5
特別利益合計	726	645
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	※4 197	※4 104
減損損失	※5 488	※5 5,275
投資有価証券評価損	—	42
たな卸資産廃棄損	※6 673	—
災害による損失	66	68
その他	24	218
特別損失合計	1,451	5,709
税金等調整前当期純利益	22,486	14,368
法人税、住民税及び事業税	7,808	6,589
法人税等調整額	△55	△167
法人税等合計	7,752	6,422
当期純利益	14,733	7,945
非支配株主に帰属する当期純利益	271	152
親会社株主に帰属する当期純利益	14,462	7,793

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益	14,733	7,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△719	△968
為替換算調整勘定	329	△1,142
退職給付に係る調整額	41	164
持分法適用会社に対する持分相当額	37	△104
その他の包括利益合計	△311	△2,051
包括利益	14,422	5,894
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,165	5,787
非支配株主に係る包括利益	257	107

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,912	18,645	110,066	△2,798	145,826
当期変動額					
剰余金の配当			△5,212		△5,212
親会社株主に帰属する当期純利益			14,462		14,462
自己株式の取得				△1,870	△1,870
自己株式の処分		△4	△73	120	41
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△4	9,176	△1,749	7,422
当期末残高	19,912	18,640	119,242	△4,547	153,248

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,951	△6,053	337	△525	△3,289	97	1,116	143,750
当期変動額								
剰余金の配当								△5,212
親会社株主に帰属する当期純利益								14,462
自己株式の取得								△1,870
自己株式の処分								41
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△671	—	333	40	△297	36	11	△249
当期変動額合計	△671	—	333	40	△297	36	11	7,172
当期末残高	2,279	△6,053	671	△484	△3,586	133	1,127	150,923

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,912	18,640	119,242	△4,547	153,248
当期変動額					
剰余金の配当			△5,187		△5,187
親会社株主に帰属する当期純利益			7,793		7,793
自己株式の取得				△2,000	△2,000
自己株式の処分		5		48	54
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	5	2,605	△1,951	659
当期末残高	19,912	18,646	121,848	△6,499	153,907

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,279	△6,053	671	△484	△3,586	133	1,127	150,923
当期変動額								
剰余金の配当								△5,187
親会社株主に帰属する当期純利益								7,793
自己株式の取得								△2,000
自己株式の処分								54
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,047	—	△1,121	162	△2,006	33	85	△1,887
当期変動額合計	△1,047	—	△1,121	162	△2,006	33	85	△1,227
当期末残高	1,232	△6,053	△449	△322	△5,592	167	1,213	149,695

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	22,486	14,368
減価償却費	13,411	13,103
減損損失	488	5,275
のれん償却額	1,777	1,762
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27	△30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	890	△587
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	450	535
たな卸資産廃棄損	673	—
災害損失	66	68
受取利息及び受取配当金	△151	△174
支払利息	462	352
為替差損益 (△は益)	△282	582
売上債権の増減額 (△は増加)	1,586	7,187
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,700	△2,554
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,538	△423
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△94	40
仕入債務の増減額 (△は減少)	262	△3,604
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△453	△764
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△666	△1,546
その他	△1,104	△639
小計	33,536	32,952
利息及び配当金の受取額	177	181
利息の支払額	△462	△354
法人税等の支払額	△7,122	△8,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,128	24,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,512	575
有形及び無形固定資産の取得による支出	△10,088	△10,348
投資有価証券の取得による支出	△33	△6
投資有価証券の売却による収入	798	640
長期前払費用の取得による支出	△117	△50
関係会社株式の取得による支出	—	△42
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	317	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,635	△9,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	600
長期借入金の返済による支出	△1,400	△1,400
自己株式の取得による支出	△1,870	△2,000
自己株式の処分による収入	1	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,514	△4,679
配当金の支払額	△5,206	△5,180
非支配株主への配当金の支払額	△4	△345
非支配株主からの払込みによる収入	—	112
その他	△12	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,005	△12,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	86	△836
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	573	1,760
現金及び現金同等物の期首残高	61,376	61,950
現金及び現金同等物の期末残高	61,950	63,710

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

- 1 連結の範囲に関する事項
 - (1) 連結子会社 31社
 - (2) 非連結子会社 2社

- 2 持分法の適用に関する事項
 - (1) 持分法適用非連結子会社 2社
 - (2) 持分法適用関連会社 3社
 - (3) 持分法非適用関連会社 4社

(連結損益計算書関係)

※1 製品期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
売上原価	25百万円	574百万円

※2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目と金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
販売手数料	84,760百万円	80,537百万円
広告宣伝費	11,544百万円	11,206百万円
貸倒引当金繰入額	10百万円	31百万円
運送費	15,210百万円	14,651百万円
給与手当	44,292百万円	44,836百万円
賞与引当金繰入額	3,909百万円	3,357百万円
退職給付費用	1,851百万円	1,896百万円
リース料	1,533百万円	1,501百万円
減価償却費	11,296百万円	10,957百万円
研究開発費	1,833百万円	1,817百万円

※3 固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
建物及び構築物	－百万円	1百万円
機械装置及び運搬具	9百万円	2百万円
工具、器具及び備品	0百万円	1百万円
土地	－百万円	115百万円
計	9百万円	121百万円

※4 固定資産廃棄損の内容は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
建物及び構築物	18百万円	19百万円
機械装置及び運搬具	0百万円	14百万円
工具、器具及び備品	12百万円	20百万円
ソフトウェア	0百万円	－百万円
その他	166百万円	50百万円
計	197百万円	104百万円

※5 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。
前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

場所	用途	種類	減損損失（百万円）
神奈川県横浜市等	店舗等 (タリーズコーヒージャパン(株))	建物他	465
北海道札幌市等	事業用資産 (株土倉)	土地他	22

当社連結子会社のタリーズコーヒージャパン(株)ではキャッシュ・フローを生み出す最小単位として、店舗毎を基本単位とした資産のグルーピングを行っております。上記のうち営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスである店舗等の、当連結会計年度末時点における該当する資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失465百万円（建物及び構築物369百万円、工具、器具及び備品42百万円、その他53百万円）として計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、使用価値はゼロと算定しております。

当社連結子会社の株土倉は単一の事業を行っていることから、全ての事業用資産を単一の資産グループとしております。同社の営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである為、当連結会計年度末時点における該当する資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失22百万円（土地14百万円、機械装置及び運搬具6百万円、その他1百万円）として計上しております。なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、土地については不動産鑑定評価額や固定資産評価額を基礎とした金額としております。その他の資産については売却や他への転用が困難である為、正味売却価額はゼロと算定しております。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

場所	用途	種類	減損損失（百万円）
福岡県福岡市等	店舗等 (タリーズコーヒージャパン(株))	建物他	370
米国デラウェア州	— (Distant Lands Trading Co.)	のれん	4,904

当社連結子会社のタリーズコーヒージャパン(株)ではキャッシュ・フローを生み出す最小単位として、店舗毎を基本単位とした資産のグルーピングを行っております。上記のうち営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスである店舗等の、当連結会計年度末時点における該当する資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失370百万円（建物及び構築物335百万円、工具、器具及び備品34百万円、その他0百万円）として計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、使用価値はゼロと算定しております。

当社連結子会社のDistant Lands Trading Co. は単一の事業を行っていることから、全ての事業用資産を単一の資産グループとしております。同社は経営環境の著しい悪化があることから、将来の回収可能性を検討した結果、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったため、回収可能価額まで減額することとし、減損損失4,904百万円（のれん4,904百万円）として計上しております。なお、回収可能価額は将来の事業計画に基づいた使用価値により算定しております。また、使用価値の算定の際に適用した割引率は8.07%を用いております。

※6 たな卸資産廃棄損

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

自社の品質基準に達していない一部製品の廃棄等に関連する費用として673百万円計上しております。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に国内外でリーフ製品・ドリンク製品の製造、仕入及び販売をしており、その他に飲食事業等を展開しております。したがって、当社グループの報告セグメントは「リーフ・ドリンク関連事業」、「飲食関連事業」、「その他」から構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成の基礎となる会計処理の方法と一致しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	462,841	34,555	6,756	504,153	—	504,153
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	437	12	2,792	3,242	△3,242	—
計	463,278	34,568	9,549	507,396	△3,242	504,153
セグメント利益	19,806	3,504	771	24,083	△1,263	22,819
セグメント資産	268,535	17,015	6,744	292,294	11,687	303,981
その他の項目						
減価償却費	12,331	940	139	13,411	—	13,411
のれんの償却額	211	—	69	280	1,496	1,777
持分法適用会社への投資額	1,514	—	—	1,514	—	1,514
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	10,843	1,491	47	12,383	—	12,383

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,263百万円は、のれんの償却額△1,496百万円、セグメント間取引232百万円であります。

2 セグメント資産の調整額11,687百万円は、のれんの未償却残高等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	444,071	32,798	6,490	483,360	—	483,360
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	339	13	2,934	3,287	△3,287	—
計	444,411	32,811	9,424	486,647	△3,287	483,360
セグメント利益	18,783	1,725	656	21,165	△1,224	19,940
セグメント資産	263,808	15,057	6,647	285,513	5,137	290,651
その他の項目						
減価償却費	12,015	948	139	13,103	—	13,103
のれんの償却額	211	—	67	278	1,483	1,762
持分法適用会社への投資額	1,483	—	—	1,483	—	1,483
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	10,810	1,805	45	12,662	—	12,662

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,224百万円は、のれんの償却額△1,483百万円、セグメント間取引259百万円であります。

2 セグメント資産の調整額5,137百万円は、のれんの未償却残高等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
普通株式に係る1株当たり情報		
1株当たり純資産額	1,229円28銭	1,221円92銭
1株当たり当期純利益	116円02銭	61円53銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	115円74銭	61円38銭
第1種優先株式に係る1株当たり情報		
1株当たり純資産額	1,234円28銭	1,226円92銭
1株当たり当期純利益	126円00銭	71円53銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	125円72銭	71円38銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	14,462	7,793
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	10,275	5,428
第1種優先株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,186	2,364
普通株式の期中平均株式数(千株)	88,567	88,231
第1種優先株式の期中平均株式数(千株)	33,226	33,056
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	291	286
(うち新株予約権(千株))	(291)	(286)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	10,284	5,433
第1種優先株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,177	2,359
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。